

滋賀県産業振興ビジョン（改定版）原案に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方

番号	頁	項目	意見・情報の概要	意見・情報に対する考え方
第1 はじめに ～滋賀県産業振興ビジョン改定の趣旨～				
(パワーポイント版)				
1	7	(参考資料) 滋賀県基本構想における経済の面等からの具体的な「目指す姿」	「近江商人の歴史を学び、地域に対し誇りを持ちます」を具体的な目指す姿に追加(近江商人、三方よしが所々にちりばめられているが具体策がない。)	御指摘を踏まえ、次のとおり修正いたします。 (ワード版8ページも同様に修正します。) <修正後> 近江商人の歴史を学び、地域に対する誇りを持っています。
(ワード版)				
2	1	16行	「進取の精神」とありますが、「進取の気性」「三方よしの精神」といった使い方が一般的だと思います。11ページの表現と整合させる意味でも「進取の気性」とされてはいかがでしょうか。	御指摘を踏まえ、滋賀県産業振興審議会での議論を経て、次のとおり修正します。 (ワード版11ページおよびパワーポイント版スライド14も同様に修正します。) <修正前> 進取の精神 <修正後> 進取の気概
第2 産業振興ビジョンのコンセプト				
(ワード版)				
3	5	18行	「三方よし」の精神を受け継ぎを、「三方よし」の精神をその歴史から学び、精神を受け継ぎに変更。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (パワーポイント版スライド4も同様に修正します。) <修正前> 「三方よし」の精神を受け継ぎ、 <修正後> 「三方よし」の精神をその歴史から学び、受け継ぎ、
4	6	16行	「3 産業振興ビジョンが具体的に「目指す姿」にある2030年の姿は、バックキャスティングの根拠になるものであり、8ページで掲げている「具体的な「目指す姿」」と一体で、より具体的に描写すべきものと考えます。(その意味で8ページは「参考」にとどまるものではないと考えます。)	8ページに(参考) 滋賀県基本構想における経済の面等からの具体的な「目指す姿」を記載しており、そうした「目指す姿」を踏まえ、6ページに産業振興ビジョンでは、現行の産業振興ビジョンの目指す姿を基本としながら「目指す姿」を見直して記載しています。 また、御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (パワーポイント版スライド7のタイトルも同様に修正します。) <修正前> (参考) 滋賀県基本構想における経済の面等からの具体的な「目指す姿」 滋賀県基本構想における経済の面からの「目指す姿」、第五次滋賀県環境総合計画等を踏まえ、産業振興ビジョンでは、次のとおりとしています。 <修正後> 4 滋賀県基本構想や第五次滋賀県環境総合計画等における具体的な「目指す姿」 滋賀県基本構想や第五次滋賀県環境総合計画等における具体的な「目指す姿」は、次のとおりです。
5	8	30行	近江商人の歴史を学び、地域に対する誇りを持ちます、を追加。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (パワーポイント版スライド7も同様に修正します。) <修正後> 近江商人の歴史を学び、地域に対する誇りを持っています。
第3 2030年の目指す姿からのバックキャスティング				
(ワード版)				
6	9		目指す姿を踏まえ、バックキャスティングの中で産業振興のための大きな目標が設定できるとよいと考えます。	6ページにビジョン(2030年の目指す姿)として大きな姿を位置づけているため、目指す姿は原案のとおりとします。 また、個々の施策の推進においては、それぞれ目標を描きながら取組んでまいります。
7	11	23行	(修正) 「9つの地場産業が立地」→「琵琶湖の水や地理的条件を活かした地場産業が立地」 ※「9」という数が持ち味や強みではないと考えます。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (パワーポイント版スライド13も同様に修正します。) <修正前> 9つの地場産業が立地 <修正後> 琵琶湖の水や地理的条件などを活かした地場産業が立地
8	13	17行～24行	ポイント③とポイント④は、いずれも農業を最初に記述しており、農業にウエイトを置きすぎている印象があります。	今回の産業振興ビジョンの改定では、「産業」を広く捉え、従来の産業区分(第一次産業、第二次産業、第三次産業)に捉われない、「異分野の融合」や「新しい産業」を志向することとしており、従来の「商工業」だけではなく、行政の縦割りを超えて、「産業」を幅広く捉えることとしています。 そのため、第一次産業である農業についても、より丁寧に記載をしているものです。

番号	頁	項目	意見・情報の概要	意見・情報に対する考え方
9	13	18行	「担い手が変わってきている分野もあります。」の意味がよくわからないので、説明を加えた方がよいと考えます。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (パワーポイント版スライド14も同様に修正します。) <修正前> 担い手が変わってきつつある分野もあります。 <修正後> 各産業の担い手が変わってきつつある分野もあります。
10	13	23行	(修正) 「製造業IoTなど、」の次に「滋賀の強みであるものづくり技術を活かし、」を追記。 ※「ものづくり技術」が本県産業の強みであることをビジョンのどこかで明記いただきたいと思います。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 <修正前> 14ページ6行目 新たな技術開発の推進 <修正後> 滋賀の強みであるものづくり技術等を活かした新たな技術開発の推進
第4 産業振興の基本的な考え方				
(パワーポイント版)				
11	16	産業振興の基本的な考え方(3)	①チャレンジする・・・に、近江商人の歴史教育を追加。 (小中高の教育を推進。近江商人のブランド化が必要。あえて<世界から選ばれる滋賀>にも、近江商人のブランド化を追加すればどうか。OODAのObserveはまさに近江商人の教育)	5ページ(キーマッセージ)、6ページ(バリュー)および11ページ(滋賀県の持ち味)において、近江商人の三方よしの精神について説明をしておりますが、御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。 (ワード版16ページも同様に修正します。)
12	18	目指す姿(ビジョン)の実現に向けた施策の基本的方向(1)	①チャレンジする・・・に、近江商人の歴史教育を追加。 (小中高の教育を推進。近江商人のブランド化が必要。あえて<世界から選ばれる滋賀>にも、近江商人のブランド化を追加すればどうか。OODAのObserveはまさに近江商人の教育)	<修正前> ・革新者の創造 <修正後> ・革新者の創造や近江商人等先人の教えの継承
第5 ビジョンの推進				
(ワード版)				
13	25	4行	「キャッシュレス」はインバウンドだけでなく、もっと大きな観点から取り組む課題であると考えます。	御意見のとおり、キャッシュレスは幅広く活用されていますが、ここではインバウンド促進のための施策の例示として記載していることから、原案のとおりとします。
14	26	12行	(追記) ・新しい東北部工業技術センターを、企業に寄り添うパートナーシップ型センターとして整備します。	県の役割として、「ソフトおよびハードの両面からの環境づくりを進めます」とし、その中に御意見の内容も含んでいることから、原案のとおりとします。
15	26	20行	専門的な支援に、情報提供を追加。	御指摘を踏まえ、次のとおり修正します。
16	26	20行	(修正) ・企業等に対して専門的な支援を行います。 → 企業等に対して専門的な支援を行うとともに支援機関相互の連携を一層強化します。	<修正前> ・ノウハウやネットワークを活かし、企業等に対して専門的な支援を行います。 ・企業等と多様な主体、地域を結び付けます。 <修正後> ・ノウハウやネットワークを活かし、企業等に対してニーズに応じた支援等専門的な支援を行うとともに、支援機関相互の連携を一層強化します。 ・地域経済の活性化のため、企業等と多様な主体、地域を結び付けます。
17	26	22行	地域経済の活性化の為、企業と行政間の調整を行います、に変更。	
(その他)				
(ワード版)				
18	全体		人材の育成において、近江商人の歴史を勉強することを追加すればどうか。	今後、近江商人の三方よしの精神を踏まえ、ビジョンそのものを推進していきたいと考えていることから、原案のとおりとします。
19	全体		滋賀県の基本構想の下に各部門別計画が策定されていることがパワーポイント版の29ページに示されていますが、それらの他の分野の計画内容との整合性はとれているのでしょうか。13ページにあるように「産業」を広く捉え、「異分野の融合」や「新しい産業」を志向するというのであれば各部門別計画にもその方針が記載される必要があると思われます。他の部門別計画が今後改定される場合には、商工観光労働部からはその点を明確に助言されることを期待します。 それと関連しますが、現在、総合企画部で次期総合戦略の議論が行われています。その骨子案の中に産業振興に関する記述もありますが、国の基本目標を意識し、「次代に向かう産業の活性化と多様で魅力ある働く場の創出」という文言が基本政策の一つとして掲げられています。また、同骨子案中、次期計画において重視するポイントとして「Society5.0を見据えた産業の振興」という項目があり、その説明として「情報通信をはじめとした新技術と人々の生活とが調和する社会を支える産業の振興」とあります。本来であれば、こうした基本政策や重要ポイントには、産業振興ビジョン(改定版)のキーコンセプトや基本的な考え方である「異分野の融合」や「新しい産業」を志向するなどのビジョン(改定版)の重要ポイントが文言として反映されているほうが県の考え方がより明確に伝わるのではないのでしょうか。 今回のビジョン改定において、「産業を幅広く捉える」とする以上は、商工観光労働部におかれては他の部門別計画等との整合性や相乗効果を十分意識した横断的な取り組みを計画づくりを含め積極的に行っていただきたいと思います。	産業振興ビジョンの改定においては、滋賀県基本構想を踏まえて改定作業を行い、整合性を図りながら進めてきております。 今後、各部門別計画が策定される場合においても、本産業振興ビジョンと整合性を図りながら、各部門別計画の策定等に反映していただくことを予定しており、適切に助言してまいりますと考えています。 また、次期総合戦略とも、整合性を図りながら作成を進めてまいります。
20	全体		人口減少を背景に経済成長が鈍化する中、県としては規制緩和を推進し、国内外のベンチャー企業や研究開発型企業を惹きつける必要があるように思います。これまでの政策にとらわれず、新しいフロンティアの開拓に尽力されることを期待します。	産業振興ビジョンの改定においては、4つの視点のうち、特区制度等に見られる規制緩和の取組の推進を例として、「実証実験のフィールド滋賀」を進めていくこととしております。 いただいた御意見を踏まえ、今後「実証実験のフィールド滋賀」の推進を進めてまいります。